

## 平成29年度 学校評価のための生徒・保護者アンケート分析結果について

巨摩高校定時制

### ◇今年度の目標について

・学校目標・経営方針 「健康で、明るく、思いやりのある心の温かい生徒を育成する」

#### ・重点目標

- 1 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。
- 2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。
- 3 多種多様な体験学習を展開して、生徒の生きる力やコミュニケーション能力を育成する。
- 4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。

### ◇重点項目ごとの分析結果について

- 1 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。

#### <生徒>

授業のわかりやすさや工夫については昨年より10ポイント以上上がり、80%代になった。また、学習意欲についても肯定的回答がここ数年より数ポイント下がっている。学習意欲や理解力に差があり、少人数ながらも学力格差の大きい集団になっている。肯定的な評価でない30%近い生徒の学習意欲を向上させるためにも、より質の高い授業が出来るように、今後も継続して努力していきたい。

#### <保護者>

保護者の肯定的な回答は95%と昨年を10ポイント以上、上回っている。全校体制で実施している作文力の向上、生徒の活動を重視した授業展開やICTを活用する取り組みが評価されているようである。

- 2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。

#### <生徒>

進路に関して相談しやすい、支援がしっかりしているとする肯定的回答は昨年よりも、8ポイント下がっているが、進路講話や企業見学は逆に上昇して面もある。さらに生徒にとって有益な行事を企画・実施していきたい。

#### <保護者>

進路指導については、昨年度を若干下回った。職業観や勤労観を高めたり、進路的行事に保護者の参加を募るなど、工夫した取り組みをしていきたい。

- 3 多種多様な体験学習を展開し、生徒の生きる力・コミュニケーション能力を育成する。

#### <生徒>

昨年度と比較して、地域学習としてのもの作りは7ポイント、総体・学園祭が12ポイント、生活体験発表が3ポイント下がり、あいさつ・マナーは6ポイント上がった。各項目の肯定的評価の平均が70%となっていることから、生徒自身が自ら考え実践し、粘り強く取り組み体験することが文字通り生徒の力につながっていると思われる。今後も、このような機会を多く持つようにしたい。

#### <保護者>

今年も昨年度並みの肯定的評価を受けている。体験的な学びが保護者にも支持されているが、生徒の社会的資質の向上にまで結び付くように、さらに工夫していきたい。

#### 4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。

##### <生徒>

学校ブログは10回更新し、巨摩定通信は4月から毎月発行してきた。肯定的回答は昨年度と比較して15ポイント上昇の45%にとどまった。ブログは生徒にとって既知の情報が多いが、認知度のアップも含めて、今後も有益な情報を提供していきたい。一方、学校からの配布物を保護者に見せる生徒は若干減少して67%になった。

##### <保護者>

保護者のブログ閲覧や学校の様子は、それぞれ71%、45%と昨年度と比較してともに減少した。しかし、今年も閲覧回数は1万を超え、「巨摩定の今」を広く発信している。今後とも開かれた学校として情報提供に努めたい。

#### ◇本校での学校生活全般について

##### <生徒>

家庭で学校の話をする生徒は昨年よりも20ポイント下がってして61%になった。本校に入学してよかったとする生徒の割合は、昨年度8ポイント上がり、本年度は昨年度とほぼ同じで、学校として肯定的に評価されている。

##### <保護者>

保護者からの記述は少ないものの、肯定的なものであった。生徒が学校生活を楽しいと感じ、満足している保護者は数ポイント下がったが、本校に入学させてよかったとする保護者は昨年とほぼ同じであったと、肯定的に評価されている。